

（１）実態把握等

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	実態把握等	実施結果	評価
4	こころと体の健康調査	1年生のみ4月に実施。他の学年は5月に実施した。紙媒体で実施した。実施項目にいじめに関する項目を追加した。学生相談支援室の対応が必要と判断した学生、または担任から問い合わせのあった学生について情報確認を行った。 また、回答内容から、必要と判断した学生について、学生相談支援室が個別にコンタクトを取り、カウンセリングを実施した。 アンケートの設問は別添資料1のとおり。13と16の質問項目で「はい」と回答した場合は、高リスクとなる。 775人回答し、高リスク40人（5.2%）。全員カウンセリング実施済。	a 目的を達成した
	（通年実施） 学生相談Formsの設置	令和2年度から引き続き、Formsによる学生相談を通年で実施した。窓口や電話での相談の申し出に抵抗のある学生から、メールやリモートカウンセリング（音声のみの場合も有）の依頼が複数件あった。 また、どこへ質問・相談してよいか分からないが、困りごとを抱えている学生からも連絡があり、従来の制度では拾えなかった学生の声も掬うことができた。	* 計画外の取り組みを実施した
5	健康生活アンケート	「こころと体の健康調査」を実施し、以下の対応を行った。回答内容は学生相談支援室長がすべて確認し、懸念のある学生について個別にコンタクトを取り、必要に応じてカウンセリングを実施した。アンケートの設問は別添資料1のとおり。	a 目的を達成した
6			
7	Q-Uテスト	1年生（休学者を除く165名）を対象に7月12日にhyper-QU（アンケート）を実施した。結果については9月に各学級担任へ配付した（結果の学生へのフィードバックについては各学級担任会に一任）。	a 目的を達成した
	学生向けいじめに関するアンケート調査	8月に実施した	

（１）実態把握等

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	実態把握等	実施結果	評価
8	保護者へのアンケート	家庭でのスマートフォン・PCの取扱いについてルールを定めているか、学生相談支援室を認知しているか、子どもの様子で最近変わったことはないか等について、本科全学生の保護者を対象にアンケートを実施した。 回答内容から、気になる学生について、担任等の関係者と情報共有を行い、学生及び保護者にコンタクトを取り、必要に応じてSC・SSWによるカウンセリングを実施した。 アンケートの設問と集計結果は別添資料2のとおり。	a 目的を達成した
	学生向けいじめに関するアンケート調査	全学生を対象に8月7日から10月27日までの期間、Formsにていじめに関するアンケート調査を実施し、気になる学生等については面談やカウンセリングを行った。結果については、11月に開催したいじめ対策委員会にて報告した。 夏季休暇の前後に、クラス担任を通じてFormsのアドレスを書いたプリントを配布して案内を行ったことで、昨年度より格段に回答率がアップし、全校生徒の66%の学生から回答を得た。 集計結果及び設問は別添資料3のとおり。特に「自分のこと」の設問に「ある」と回答している数が多い学生を中心に、気になる学生をピックアップした。最も多く「ある」と回答があった設問は「学校に行きたくないと思う。」で回答数の6.5%だったが、面談で確認したところ、いじめとは関係のない理由（暑い、レポートが大変、眠い等）や回答間違いも多かった。	a 目的を達成した
9			

（１）実態把握等

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	実態把握等	実施結果	評価
10	学校適応感尺度調査	紙媒体で、全学生を対象に実施した。調査を行った学校生活等に関する因子は、「自己肯定感」、「進路目標」、「学習意欲」、「規則意識」、「友人関係」、「家族関係」、「ネット依存性」、「自殺親和性」、「居心地の良さ」、「課題・目的の存在」、「劣等感」、「部活」、「寮生活」、「研究活動」、「教員との関係」の15。 集計結果（レーダーチャート、自由記述）を担当へ共有し、気がかりな学生について担任が適宜面談を実施した。「自己肯定感」「自殺親和性」「研究活動」「教員との関係」の回答結果は担任には共有せず、学生相談支援室で管理（学生には、「担任に知らせない」ことを明示し、回答させているため）。 アンケートの設問と回答（サンプル）は別添資料4のとおり。	a 目的を達成した
	Q-Uテスト	7月に実施した	
11	学生向けいじめに関するアンケート	1月に実施した	
12			

（１）実態把握等

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	実態把握等	実施結果	評価
1	こころと体の健康調査	紙媒体で1～4年生を対象に実施した。施時の項目に「いじめを見聞きしたことがあるか」を追加した。 学生相談支援室の対応が必要と判断した学生、または担任から問い合わせのあった学生について情報確認を行い、以降の指導方針等をカウンセラー等の専門家と協議し、必要に応じて、次年度の担任へ情報共有を行うこととした。また、回答内容から、必要と判断した学生について、学生相談支援室が個別にコンタクトを取り、カウンセリングを実施した。 アンケートの設問は別添資料1のとおり。13と16の質問項目で「はい」と回答した場合は、高リスクとなる。 580人回答し、高リスク17人（2.9%）。現在、高リスク者を対象にカウンセラーによるカウンセリングや、学生相談支援室長との面談を実施しており、14人に実施が終わっている。	a 目的を達成した
	学生向けいじめに関するアンケート調査	全学生を対象に1月11日から1月26日までの期間、Formsにていじめに関するアンケート調査を実施し、気になる学生等については面談やカウンセリングを行った。結果については、3月に開催するいじめ対策委員会にて報告予定。 前期の実施が10月まで跨ったため、後期の実施を遅らせた。前期よりも回答率が上がり、全校生徒の75%の学生から回答を得た。 集計結果及び設問は別添資料5のとおり。特に「自分のこと」の設問に「ある」と回答している数が多い学生を中心に、気になる学生をピックアップした。最も多く「ある」と回答があった設問は「学校に行きたくないと思う。」で回答数の6.8%だったが、面談で確認したところ、いじめとは関係のない理由（だるい、寒い、遠い等）や回答間違いも多かった。	a 目的を達成した
2			
3			

（２）各教科、特別活動等

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	各教科、 特別活動等	実施結果	評価
4	心の健康管理（特活）	1年全学科を対象として、スクールカウンセラー（臨床心理士）による講演「こころも健康で過ごすために知っておいて欲しいこと」を実施し、カウンセラーとの顔合わせ及び相談窓口の周知を行った。 新入生に学生相談支援室（SCやSSW、外部相談員の存在）を認識してもらうことができた。	a 目的を達成した
	S N S 等利用に関する講習会（1年生）	特別活動の時間を利用して、宮崎県警察本部、都城警察署及びBTV株式会社からそれぞれ講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと（いじめ、名誉棄損、誹謗中傷等）について指導いただいた。	a 目的を達成した
5	S N S 等利用に関する講習会（2年生、3年生）	特別活動の時間を利用して、宮崎県警察本部、都城警察署及びBTV株式会社からそれぞれ講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと（いじめ、名誉棄損、誹謗中傷等）について指導いただいた。	a 目的を達成した
6			
7	学生向けいじめ・ピアサポーター等に関する研修	都城市障がい福祉課より講師を招いて、通常は大人向けに実施しているゲートキーパー（悩んでいる人に気づいて声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげて、見守る心のサポーターのこと）養成講座を、学生用にアレンジし実施した（今年度より）。学生同士でペアを組み、ロールプレイを行うなど、理論だけではなく実際の活動も併せて行った。また、本校のピアサポート育成に関わる高学年生（主に学生会総務）にも出席してもらい、有意義な研修となった。	a 目的を達成した
8	オープンキャンパスの実施	中学生、保護者等が来場のうえ、全学科の実験体験、学科説明、ロボコン、エコラン、プロコン、デザコン、展示、入寮説明会等を見て回るツアー形式で実施し、計723名の来場があった。来場した中学生は、本校への興味や関心が高まった様子であった。準備・実施に際し、教職員と補助学生、あるいは学生間の交流も深まった。	a 目的を達成した

(2) 各教科、特別活動等

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	各教科、 特別活動等	実施結果	評価
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			

(3) 学生会活動

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	学生会活動	実施結果	評価
4			
5	クラスマッチ	全学年同時開催でクラスマッチを実施した。当日は学年を超えて競技を行い、学生間の繋がりを縦横ともに深めることができた	a 目的を達成した
6	学生の自主的な活動計画	上記のクラスマッチ学年別分散開催や後期の文化祭において実施可能なプログラムの立案（いじめ防止週間の設定及び啓発活動）を進めていき、最終的には学生会役員を中心に両方とも実施することができた。	a 目的を達成した
7	【宮崎県】いじめ防止週間 (いのちの教育週間)	11月に実施。	
8			
9	自殺予防週間	自殺対策基本法に規定する自殺予防週間（9/10～9/16）の啓発資料（文部科学省作成、文部科学大臣からのメッセージ・各種相談窓口情報）を学生へTeamsで周知した。	a 目的を達成した
10			
11	いじめ防止週間（体育競技会、高専祭）	いじめ防止週間は、11月29日（水）から12月5日（火）に設定した。期間中、学生会主催でいじめ防止川柳大会を実施し、12月13日（水）の学生総会において、学生が応募した川柳から選ばれた最優秀賞が発表された。学生が自ら考え企画する活動を、教職員が支援・協力することにより、学校全体で「いじめを許さない」意識を涵養し、いじめ防止に取り組むことができた（学内に掲示）。	a 目的を達成した
12	クラスマッチ	全学年同時開催でクラスマッチを実施した。当日は学年を超えて競技を行い、学生間の繋がりを縦横ともに深めることができた。	a 目的を達成した
	人権週間	法務省の人権擁護機関が定める人権週間（12/4～12/10）の啓発資料（法務省作成のポスター等）の掲示を行った他、学生へTeamsで周知した。	a 目的を達成した
1			
2			
3			

（４）情報モラル関連

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	情報モラル 関連	実施結果	評価
4	S N S 等利用に関する講習会（1年生）	特別活動の時間を利用して、宮崎県警察本部、都城警察署及びBTV株式会社からそれぞれ講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと（いじめ、名誉棄損、誹謗中傷等）について指導いただいた。	a 目的を達成した
5	S N S 等利用に関する講習会（2年生、3年生）	特別活動の時間を利用して、宮崎県警察本部、都城警察署及びBTV株式会社からそれぞれ講師を招いて「SNSの利用に関する講習会」を実施した。講習会では、講師から、インターネット・SNS上においてやってはいけないこと（いじめ、名誉棄損、誹謗中傷等）について指導いただいた。	a 目的を達成した
6			
7	SNS利用講習（1、2年生）	4月、5月に実施	
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			

（５）教育相談・支援

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	教育相談・支援	実施結果	評価
4	新入学生の相談	新入生対象の合理的配慮申請をもとに、対象学生及び保護者と面談をし、合理的配慮について関係教職員に周知した。入学前健康調査により、教育的配慮が必要な学生を抽出し、入学式後に学生及び保護者との面談並びに関係教員との顔合わせを実施した。	a 目的を達成した
	学校説明会・授業参観・学級懇談会（2～4年）	新型コロナウイルスの影響により数年実施できていなかったが、今年度より通常通り再開。学校説明会においては、スクールカウンセラーより保護者へ向けた講演があった。	a 目的を達成した
5	健康相談	年度当初の身体測定時に、健康アンケートを実施した。	a 目的を達成した
6	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	a 目的を達成した
	授業担当者会議	前期中間試験終了後に、予定どおり実施した。（低学年生）授業担当者と担任間で、学生に係る授業受講状況等に関する情報共有を行い、以降の学生指導に繋げた。	a 目的を達成した
7	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	a 目的を達成した
8	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	a 目的を達成した
	授業担当者会議	前期末試験終了後に、予定どおり実施した。（低学年生）授業担当者と担任間で、学生に係る授業受講状況等に関する情報共有を行い、以降の学生指導に繋げた。	a 目的を達成した
9	1、2年生保護者個別面談	前期末試験終了後に成績不振者を対象に学級担任による保護者個別面談を実施し、今後の学習における改善計画等について共有した。	a 目的を達成した

（５）教育相談・支援

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	教育相談・支援	実施結果	評価
10	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	a 目的を達成した
11	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	a 目的を達成した
12	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施した。	a 目的を達成した
	授業担当者会議	後期中間試験終了後に予定どおり実施した。（低学年生）授業担当者と担任間で、学生に係る情報共有を行い、以降の学生指導に繋げた。	a 目的を達成した
1	個別面談	学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談をオンラインで実施した。	a 目的を達成した
2	個別面談	学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談をオンラインで実施した。	a 目的を達成した
3	個別面談	随時、担任、学生相談支援室長、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーによる面談を実施する予定。	a 目的を達成した

（６）教職員研修

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	教職員研修	実施結果	評価
4	新担任学習会	前年度3月に実施	
5			
6			
	FD研修	9月に実施	
7	教職員向けいじめに関するセルフチェック	9月に実施	
8			
	FD研修	特定非営利活動法人ジェントルハートプロジェクトから講師にお招きし、いじめのない社会の実現にかかる研修会「いじめ予防と対策のための〈チーム学校〉をつくる」を開催した。いじめを考えるうえにおいて、加害者へのケア、被害者責任論の是非、傍観者は加害者か否か、職員間の情報共有・連携など様々なことを考慮することが大切であることを自覚した研修会であった。	a 目的を達成した
9	未成年者の自殺未遂者支援に関わる支援者向け研修会	保健所の方より管内における自殺の現状の説明があり、その後、精神科病院の医師より「未成年者の自殺予防～教員視点でできること～」の講演があった。10代の若者の身近な相談者となり得る教職員を対象に、自殺に関する正しい知識や対応方法を理解してもらい、学生のゲートキーパーの役割を担う人材を養成する目的で実施した。	* 計画外の取り組みを実施した
	教職員向けいじめに関するセルフチェック	本校いじめ防止等基本計画に基づくセルフチェックリストを、9月28日～10月13日期间で全教職員を対象に実施した。教職員の意識を高め、理解を促した。	a 目的を達成した
10			
	FD研修	12月に実施	
11	教職員向けいじめ等に関する研修	1月に実施	

（６）教職員研修

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	教職員研修	実施結果	評価
12	FD研修	12/4～12/15の期間において、教員相互による『校内公開授業』を実施した。他の教員の授業を参観しアンケートを記入することにより、参観した教員及び授業を公開した教員双方にとって、授業における板書の仕方、話し方、授業方法の工夫等、気づきを得られる有意義な機会となった。	a 目的を達成した
1	教職員向けいじめ等に関する研修	1月9日～1月26日までの期間で、全教職員を対象としたいじめ防止等研修（動画視聴）を実施した。教職員の意識を高め、理解を促した。	a 目的を達成した
2			
3	新担任学習会	スクールカウンセラーによる新担任への研修会（本校学生の傾向や特性のある学生との関わり方等についてのレクチャー）を実施する予定。	3月実施予定

（ 7 ） 寮 生 活

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	寮生活	実施結果	評価
4	新寮生歓迎会	4月19日（水）20時から、本校第1体育館で、4年ぶりに新入寮生計71名（1年生：男子49名、女子21名、留学生3年生男子1名）の歓迎会が開催された。 寮役員全員による自己紹介や、高千穂寮周辺の「私が好きなお店」の紹介があり、新入寮生から、一人ずつ自己紹介があった。中にはパフォーマンスを披露する新入寮生もあり、会場を盛り上げてくれた。 新入寮生たちは、本会をとおして、何事も段取り・準備を行い、模範行動を示し、下級生へのお世話や場の仕切りと気遣いを行う「良き伝統」も、上級生から感じとってくれたようである。	a 目的を達成した
5	寮祭	5月14日（日）に本校第1体育館及び体育館前駐車場において、寮祭を開催した。体育館では、バンド演奏やダンス、コーラ早飲み選手権等のステージイベントが開催され、体育館前駐車場では、スーパーボールすくい、水ヨーヨー釣りや輪投げ、ストラックアウトなどの屋台のほか、初の試みとして、キッチンカーの出店もあった。 今年度は、数年ぶりに参加を認められた通学生も、ダンス等、ステージを大いに盛り上げてくれた。 夕食後は、グラウンドで思い思いに手持ち花火を楽しんだ。	a 目的を達成した
	寮生総会	5月24日（水）に第2体育館で寮生総会を開催した。事前にFormsでアンケートを実施し、寮生から寄せられた困りごとや質問に対して、寮生会及び寮指導部から回答があった。	a 目的を達成した
6	映画観賞会	約3年ぶりに20名程度の学生が参加し合宿施設において、6月17日（土）・24日（土）20時15分から、高千穂寮映画観賞会を開催した。	* 計画外の取り組みを実施した
7			
8			
9			
10			

(7) 寮生活

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった

* 計画外の取り組みを実施した

月	寮生活	実施結果	評価
11	寮生総会	11月8日（水）に第2体育館で寮生総会を開催した。事前にFormsでアンケートを実施し、寮生から寄せられた困りごとや質問に対して、寮生会及び寮指導部から回答があった。 また、新寮生会役員の就任について承認がなされた。	a 目的を達成した
	夜間ハイク	コロナやインフルエンザの感染流行もあり、他の行事の関係で実施できなかった。	c 達成できなかった
12	講演会	コロナやインフルエンザの感染流行もあり、実施できなかった。	c 達成できなかった
	高千穂シネマ	1月19日（金）に30名程度の学生が参加し寮食堂で実施、今回は寮生投票で選ばれたホラー系の映画を鑑賞した。	* 計画外の取り組みを実施した
1	寮マッチ	1月20日（土）第1体育館と第2体育館にてドッジボールとバレーボールの試合を学年学科や男女の混成チームにて実施した。	a 目的を達成した
2			
3			

(8) PDCA (委員会の開催)

令和6年2月末現在

a 目的を達成した、b おおむね達成した、c 達成できなかった
* 計画外の取り組みを実施した

月	PDCA (委員会の開催)	実施結果	評価
4			
5	年間計画の確認	年度計画を確認するとともに、発生した事案についての情報共有及び対応手順の確認を行い、必要に応じて改善案を委員会で検討した。	a 目的を達成した
6	中間評価と取り組みの改善 (3回開催)	発生した事案についての情報共有及び対応手順の確認を行い、必要に応じて改善案を委員会で検討した。	* 計画外の取り組みを実施した
7	中間評価と取り組みの改善	いじめ防止プログラムに計画している「学生向けいじめに関するアンケート調査(前期)」及び「教職員向けいじめに関するセルフチェック」の実施について決定するとともに、情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	a 目的を達成した
8			
9	中間評価と情報共有	情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	a 目的を達成した
10			
11	中間評価と取り組みの改善	「学生向けいじめに関するアンケート調査(前期)」の実施結果を報告し評価するとともに、情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	a 目的を達成した
	いじめ防止等の取組に関する評価・改善の公表	ホームページにおいて、いじめ防止等の取組について、令和4年度の取組等を評価し、令和5年度11月までに実施した取組において改善のための措置を講じたことを公表した。	* 計画外の取り組みを実施した
12	中間評価と取り組みの改善	発生した事案についての情報共有及び対応手順の確認を行い、必要に応じて改善案を委員会で検討した。「学生向けいじめに関するアンケート調査(後期)」の実施について検討するとともに、「教職員向けいじめに関するセルフチェック」及び「いじめ防止週間」の実施結果を報告し評価した。	* 計画外の取り組みを実施した
1	中間評価と情報共有	2月に実施した。	
2	中間評価と情報共有	情報共有が必要な案件等がないかを確認した。	a 目的を達成した
3	外部評価組織等による検証	いじめ防止等に向けた取り組みについて評議員会にて検証いただき、その結果に基づいて改善を実施する予定。	b おおむね達成した
	次年度計画の作成、評価及び改善の公表	いじめ対策委員会において、今年度の振り返り・次年度計画の策定を行う予定。	a 目的を達成した